

公益社団法人 日本動物学会
平成 27 年度第一回 理事会議事録

1. 開催日時 平成 26 年 8 月 31 日（月） 16 時－16 時半
2. 開催場所 東京大学大学院理学研究科二号館 武田洋幸研究室
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 理事総数及び定数
理事総数 18 名 定足数 10 名
4. 出席員数 出口竜作、武田洋幸、山下正兼、田村宏治、窪川かおる、倉谷滋
沼田英治、富岡憲治、尾崎浩一、筒井和義、浅見崇比呂、
監事 2 名 長濱嘉孝、阿形清和
事務局 永井裕子
欠席者 稲葉一男、井口泰泉、高畑雅一、蟻川謙太郎、竹井祥郎、小泉修、佐藤矩行
5. 議事について
第一号議案 平成 26 年度 公益社団法人 日本動物学会事業報告について
第二号議案 平成 26 年度 公益社団法人 日本動物学会決算について
6. 議事の経過及び結果
定款 34 条に則し、定足数については、理事 18 名のうち 11 名の出席であると沼田副会長より説明があり、本理事会成立の旨が告げられた。

審議事項

- 1 平成 26 年度 公益社団法人日本動物学会事業報告について
蟻川庶務が、海外出張中であるため、沼田副会長が事業報告の説明を行った。
活動計画に沿って、事業活動を行った。特に、平成 27 年 1 月、*Zoological Letters* 刊行が *BioMed Central* から刊行を開始できたことは、動物学会の活動の中で、大きなものであったと考えます。平成 28 年度に沖縄で開催される国際動物学会議と本会の国内大会の準備に関しても様々な活動を行っている。各委員会活動については、事業報告の通りとなっています。
事業報告案については、提案通り、承認された。

2. 平成 26 年度 公益社団法人 日本動物学会決算について
出口会計幹事より、以下のような説明があった。
黒字となりましたことを最初にお伝えいたします。仙台大会のご尽力、科研費から、ジャーナル編集費として賄えたものが一部あり、今回の収支となりました。併せて、*Zoological Science* 出版費の削減（前期はまだ数字上に明確には表れていませんが）*BioOne* 購読料が順調であったことも大きな要因となりました。ご注目いただきたいのは、寄付金に関して

です。前年比65万円増である点は重要です。その上で、ご寄附を活動にまわす、つまり、公益社団として必要な公益活動への支出も十分に行われております。さらに、本年度は国際会議準備年となること、また *Zoological Letters* APC の一部負担もあり、黒字での繰り越しは、本会にとって、大変良いことであったと考えます。

ただし、収入増加は、一時的な影響に過ぎないことも、見逃せません。会費収入は落ちております。なお、支部活動費にあたります支部会費の増収については、前期は、6月までに入金された支部会費（本来は今期分にあたるもの）を前期の収入としているためであること申し添えます。支部会費は、「前受金」の概念がないためであり、2015年6月末日までに納入された翌年会費は「前受金」としますが、支部会費は、6月までの入金を前年度分として処理を行っております。

審議の結果、本議案は承認された。

本理事会の議事録は、上記の通りであることを証すため、ここに署名、押印を行う
平成27年 8月 31日

議事録署名人
(議長・出席代表理事)

議事録署名人
(監事)

議事録署名人
(監事)